

■竹崎季長 武士。元寇戦功への恩賞要求に応じた安達泰盛の悲劇に、自らの戦いの記録画「蒙古襲来絵詞」を遺した。

たけざきすえなが

北条時頼執権1246 = 生。肥後国庄人。阿蘇大宮司宇治氏の一族といわれているが、菊池氏の同族ではないかという説もある。

・ ・ ・ ・ ・ 1255 = 9歳 :

北条時頼出家1256 = 10歳 :

・ ・ ・ ・ ・ 1264 = 18歳 :

北条時宗執権1268 = 22歳 :

・ ・ ・ ・ ・ 1273 = 27歳 :

元寇文永の役1274 = 28歳 : *元軍が襲来し対馬・肥前・筑前を侵した際、少式景資の指揮のもと、一族とともに防塁で戦功を立てた。

元使斬殺・ ・ 1275 = 29歳 : *鎌倉に赴き、戦功を陳し、幕府から賞せられ、海東郷地頭職を宛行われた。

元寇弘安の役1281 = 35歳 : *元軍が再び高麗軍とともに襲来したとき、大友貞親・少式資能・菊池武房らとともに敵船に乗り込み、大いに戦い、敵の首級をあげるなど活躍し、その上陸を防いだ。

日蓮没・ ・ ・ 1282 = 36歳 :

北条時宗没・ 1284 = 38歳 :

霜月騒動・ ・ 1285 = 39歳 : 若い北条貞時を後見する外祖父安達泰盛が平頼綱の讒言により討滅された。

・ ・ ・ ・ ・ 1291 = 45歳 :

平禅門の乱・ 1293 = 47歳 : *文永・弘安の両役を描いた「蒙古襲来絵詞」があり、自筆の季長置文が残っている。竹崎季長の活躍が記されており、子孫に伝えるために作らせたと思われ、鎌倉後期の代表的絵巻物とされている。

__没年不明。